

福岡県トラック協会からの記念樹木及び記念時計の寄贈について

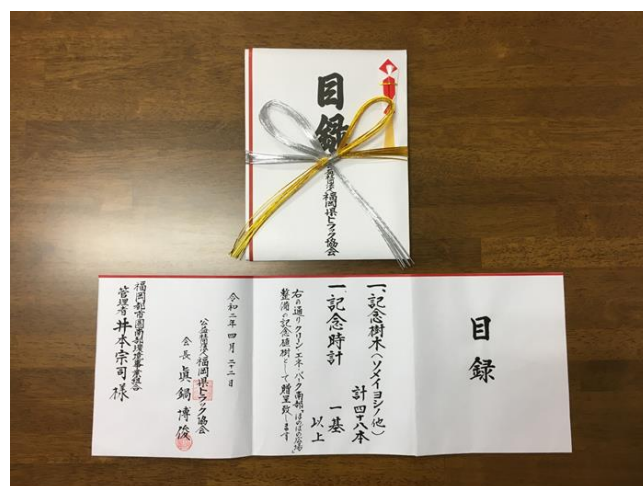
令和2年4月22日(水)、福岡都市圏南部環境事業組合の管理棟で「トラックの森記念植樹・目録贈呈式典」が行われ、事業組合が整備している「ほのぼの広場」に、記念樹木48本と記念時計1基を公益社団法人福岡県トラック協会から寄贈いただきました。当初は、各構成市や地元関係者を招待し、盛大に「植樹式」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令中のため大幅に縮小し、「目録贈呈式」に変更し執り行いました。

同協会では、地球温暖化対策の一環として「トラックの森」等の事業を推進され、地球温暖化の大きな要因となるCO2削減に寄与する取り組みをされています。贈呈にあたり眞鍋会長は、「令和元年度は市民が生活する上で避けては通れない廃棄物の処理、即ち「トラックの森」と同じ環境対策を行っているクリーン・エネ・パーク南部に寄贈することを決めました。ほのぼの広場が長く近隣住民の心を癒して、活力を生み出す場所になれば幸いです。」とのご挨拶をされ、事業組合に目録を頂きました。

また事業組合からは、井本管理者が「当事業組合としては大変ありがたく、心から感謝しており、広場を利用される多くの方に末永く憩いの場として親しんでいただけるものと確信しています。」と感謝の言葉を述べ、感謝状を贈呈しました。



左から眞鍋会長、井本管理者、三村副会長



目録



記念樹木



記念時計

(令和2年4月24日(金)ホームページ掲載記事より抜粋)